

令和5年 第10回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

公 開 部 分

令和5年 第10回宮崎市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和5年10月25日(水) 13:40~15:00

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 【教育長・教育委員】

西田教育長、松尾代表教育委員、小林委員、高峰委員

【事務局】

迫田教育局長

(企画総務課) 河野課長、砂田補佐、堀補佐、吉田補佐

田中主幹、甲斐主査、加藤主事

(学校教育課) 重盛課長、田中補佐

(学校施設課) 齋藤課長

(教育情報研修センター) 堀之内所長

(生涯学習課) 長田課長

(保健給食課) 児玉補佐

(文化財課) 町田課長、稲岡主幹

(保育幼稚園課) 佐々木課長

4 議 案

番 号	件 名	説 明 者
議案第42号	令和6年度宮崎市立ひなた中学校の入学式の期日について	企画総務課長
議案第43号	宮崎市歴史資料館条例施行規則の一部改正について	文化財課長

5 報 告

番 号	件 名	説 明 者
報告第21号	令和5年第5回宮崎市議会臨時会(10月)の報告について	教育局長
報告第22号	令和5年度第2回宮崎市いじめ防止対策委員会の報告について	学校教育課長
報告第23号	教職員の事案の報告について	学校教育課長
報告第24号	臨時代理の報告について	生涯学習課長

西田教育長	<p>それでは定刻になりましたので、ただいまから、第10回教育委員会定例会を開会します。本日ですが、片山教育委員が欠席となります。本日の傍聴者はいません。</p> <p>まず、10月1日付けで高峰教育委員が教育委員に就任しました。本日の会議から、高峰教育委員が新たに加わりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは早速ですが、高峰教育委員から一言ご挨拶をお願いします。</p>
高峰委員	<p>皆様はじめまして。高峰由美と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>仕事は、経営コンサルタントで、起業のサポートや海外輸出のサポートをしています。</p> <p>夫がみかんの生産農家で、現在はみかんの輸出の手伝いもしています。サイドワークでは、ライフワークとして、宮崎県を中心に障がいのある作家の方々のアートについての支援をしており、今海外から非常に注目されています。</p> <p>教育面では、学校のキャリア教育に関わることがあります。「ないものは自分で作ろう。」が私のモットーであり、そのモットーを自分にも課しています。宮崎県内の学校を訪れると「働きたい会社がない。」という生徒に出会います。その際は、「自分で作ったら良いのではないか。」という話をしています。自分で考えて、自分の力で越えていくということは、非常に大事なことだと考えています。</p> <p>教育委員会では、皆様と一緒に宮崎市の教育を考えていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。高峰教育委員と一緒に、教育委員会を一層より良いものにしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>次に、会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私西田と、松尾代表教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし。
西田教育長	<p>会次第「3 行事報告」に入る前に、進行の都合上、資料の19ページ、会次第「5 その他」より、「(3) 清武幼稚園における使用期限切れフッ化物洗口剤の使用について」、事務局から説明をお願いします。</p>
佐々木保育幼稚園課長	<p>資料は22ページ目をご覧ください。まず、今回の事案が発覚した経緯でございますが、宮崎県内の小中学校において、期限切れフッ化物洗口剤でうがいをしていたことがわかりました。宮崎県の指示により、本市で保育園、幼稚園、認定子ども園に調査をしたところ、清武幼稚園において、期限切れフッ化物洗口剤を使っていたことがわかりました。この件については、9月28日に宮崎県が公表しており、宮崎市としても同時期に公表をしていた案件になります。</p> <p>まず、使用した子ども達は、年少2名を除く、4歳児5名、5歳児3名</p>

	<p>の合計8名です。使用していたフッ化物洗口剤はミラノール顆粒11%で、使用期限は2023年3月のものでした。</p> <p>次に、使用期間及び使用頻度です。4月は保護者に対し、フッ化物洗口剤を用いてうがいを行うか確認をする期間であることから、4月除いて、5月22日から9月22日まで、毎日使用していました。</p> <p>原因としては、コロナ禍で洗口が実施されない期間があったことにより、使用期限切れのフッ化物洗口剤が在庫として残っていた点に加え、希釈時に使用期限の確認作業を怠っていた点です。</p> <p>対応として、9月22日の夕方に使用期限切れのフッ化物洗口剤を使用していることがわかりましたので、翌日の9月23日に保護者宛に電話やメールにて、説明と謝罪を行いました。合わせて、園児の健康状態についての聴き取りを行いました。また、改めて9月25日に、清武幼稚園で、保護者説明会を行いました。説明会に参加できない保護者については、直接幼稚園にお越しいただいた時に、説明と謝罪を行うと同時に、子ども達の健康状態についてお伺いをしています。</p> <p>今のところ健康状態に異常があった子どもは見られません。同時に、園医に、健康被害についての相談を行っています。確認をしたところ、健康被害を生じることが考えられないとのことでした。</p> <p>今後の再発防止策としては、既存の手順書に使用期限の確認を追加するとともに、使用期限の確認や希釈時の作業を複数職員で行うことを徹底します。今後も園児の健康状態を継続して確認することに加え、使用期限の確認作業を徹底する等、再発防止策に取り組んでいきたいと考えています。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明に対し、質問はありませんか。</p>
松尾委員	<p>使用期限切れのフッ化物洗口剤を使用した場合、医療的にどのような懸念点や健康被害が考えられますか。</p>
佐々木保育幼稚園課長	<p>園医と保健所にいる医者に確認をしたところ、フッ化物洗口剤の使用期限は約3年ですが、もとより期限が3年以上あるものとのことでした。袋に入っている状態では、化学変化を起こすことはないため、健康被害は考えられないとのことでした。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。その他、質問はありませんか。</p>
委員	<p>なし。</p>
西田教育長	<p>それでは、会次第「3 行事報告等」に入ります。資料の2ページをご覧ください。「(1) 教育長報告」ですが、こちらに記載のとおりとなっています。</p> <p>このうち、10月18日に行われた「令和5年度九州都市教育長協議会第1回理事会」と、10月19日から20日にかけて行われた「第35回九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会」について報告します。</p> <p>資料の3ページをご覧ください。今回は、沖縄県名護市で開催されまし</p>

	<p>た。</p> <p>1日目の理事会では、定例での話し合いが終わった後に、いつも意見交換をしています。意見交換の内容は、九州の自治体で今困っていることについてです。</p> <p>1点目は、「いじめ防止対策推進法が定義する重大事態について」です。各県の中で、特に鹿児島市では、複数の臨時委員会を設置し、年間100日以上かけ、調査や審議を行っているという話でした。</p> <p>2点目は、「スクールロイヤー制度の導入について」です。宮崎市は既に導入をしていますが、ほかの自治体では、未だ導入しているところが少ないため、必要性を感じられていました。</p> <p>3点目は、「教諭・講師の不足について」です。九州全域で教員が足りない状況が見られています。</p> <p>4点目は、「部活動の地域移行について」です。こちらについても、様々な取組が進められてる状況でした。</p> <p>続いて、定期総会が行われました。「宣言文について」の議案の審議が行われた後に、「「何故令和の改革なのか、GIGAスクール構想なのか？」～生成AI時代のネクストGIGAを展望して～」というテーマで、文部科学省 初等中等教育局 学校デジタル化プロジェクトリーダー 武藤氏より、講演がありました。どのように変化していかなければならないか、何を变えなければならぬかという視点で、「現在の一斉授業から、子ども主体の学びへ変えていかなければならない。」「同一学年ではなく、学年に関係なく行う。」「ずっと同じ教室で学習をするわけではなく、教室以外の選択肢を増やしていく。」など、開かれた教育や子ども達にとって主体性が発揮できる場を意識した教育が必要だということがわかりました。</p> <p>また、沖縄県奄美自然環境事務所 生物多様性保全企画官 小野氏より、「世界自然遺産・沖縄島北部の自然について」の記念公演がありました。「これからの時代、見えないものをどう見える化していくか。」という点が印象に残りました。加えて、「大きく力を発揮することができるのは、教育であり、教育に期待するところが大きい。」というお話がありました。また、「知識は過去のもの、知恵は将来のもの」という言葉を最後に残されていました。将来、見えない世界の中で知恵を発揮するためには、どのように教育を進めていくのがよいか、今後役に立つ、素晴らしいお話でした。</p> <p>次に、「(3) 教育局長報告」ですが、こちらに記載のとおりになっています。このうち、「自治会連合会との意見交換会」について、報告をお願いします。</p>
<p>迫田教育局長</p>	<p>先月9月28日に、宮崎市自治会連合会の役員の方と、教育委員会事務局との意見交換が行われました。教育委員会からは、私と企画総務課長、学校教育課長、生涯学習課長、保健給食課長が出席しました。</p> <p>宮崎市自治会連合会からは、本市の自治会加入率は約50%にまで低下</p>

	<p>していることを受け、強い危機感をもたれていました。市に対して全庁をあげて、自治会の重要性と、加入率向上に向けた取組を進めてほしいという要望でした。</p> <p>特に、教育委員会に対しては、「学校教育活動の中で子ども達に、自治会の重要性を伝える取組をしてほしい。」「地域と学校の連携の重要性やコミュニティ・スクールの意義等について、校長から教員に対して理解を深めてもらう取組をお願いしたい。」という要望がありました。また、PTAに対しては、「自治会の重要性を知ってもらうために、PTAの役員会等で、自治会のことを説明する時間を作ってもらいたい。」「11月12日には市民一斉清掃があり、できるだけ部活動を休止する等、子ども達が参加できる環境づくりに配慮いただきたい。」「先生たちにも自治会への加入と、地域活動への積極的な参加を呼びかけてほしい。」という要望がありました。</p> <p>教育委員会としても、地域の方々の支えが必要であると考えていますので、自治会ははじめとする地域の方々との顔の見える関係づくりに努めていきたいと考えています。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>「令和5年第5回宮崎市議会臨時会（10月）」についての報告は、後ほど議事の報告の中でお願いします。</p> <p>続いて、「令和5年度全国市町村教育員会連合会事務局長会議」について、報告をお願いします。</p>
迫田教育局長	<p>資料の4ページになります。</p> <p>10月12日から13日にかけて、島根県出雲市で開催されました。新型コロナウイルスの影響もあり、3年間開催されていませんでした。</p> <p>まず、出雲市立科学館の視察がありました。視察時には、市内小学校の5年生、4クラスが科学館の中で、「流れる水の働き」の学習をしていました。ドローンを用いて、川の上流から下流までを映したり、川ができる様子を知るために、大規模な模型を使って、砂のところに水を流したりしていました。また、災害教育の面も学習していました。宮崎科学技術館と少し異なる取組で、年間を通して、このような授業を行っているということでした。</p> <p>続いて、開会行事の後に、協議を行いました。</p> <p>1点目は、「公立中学校等における部活動の地域移行に係る課題とその解決に向けての取組状況について」です。各事務局から発表がありましたが、部活動の地域移行については、あまり進んでいない状況でした。今年度協議を進める自治体が多く、宮崎市を含め2団体か3団体がモデル地区での取組を進めている状況でした。全体的に共通した課題としては、指導者への謝金についての財源等の予算的な面、指導者の人材確保です。どの事務局もこのような問題点を挙げていました。</p> <p>2点目は、「通常の学級に在籍する障がいのある児童生徒への支援の在り</p>

	<p>方について」です。1点目の協議で時間を超えてしまったため、2点目については、資料を見ることのみでの対応となりました。</p> <p>その後、出雲市立出雲弥生の森博物館 館長 花谷氏の講演がありました。</p> <p>全体の感想として、最初の協議は全ての事務局から発表がありました。同じような発表もあったため、いくつかの団体に代表で発表してもらい、質疑を行いたかった気持ちもありました。しかし、3年間は開催されていない会議であり、私も初めて出席した会議のため、来年度以降は、内容も充実していくのではないかと感じました。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、「(4) 各課行事報告」ですが、こちらに記載のとおりになっています。このうち、「①学校教育課」の行事から、10月22日に行われた「小学校運動会」について、事務局から説明をお願いします。</p>
重盛学校教育課長	<p>小学校の運動会、中学校の体育大会については、5月に小学校3校、中学校18校、9月に中学校7校が既に実施されています。10月は、10月22日に小学校42校が実施され、10月29日に残りの小学校2校が実施予定です。10月をもって、全ての小学校の運動会と、中学校の体育大会が終了することになっています。</p> <p>10月22日に行われた運動会は、秋晴れの中、児童の発達の段階に応じて、様々な工夫をしながら、実施していました。児童は一生懸命競争をしたり、演技をしたりして、充実した活動となっていました。児童の一生懸命頑張る姿に、保護者や地域の方々も、元気や感動をたくさんもらったと思います。当日は、教育委員の皆様にもご出席いただきました。ありがとうございました。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>参加された松尾代表教育委員、小林教育委員よりご感想をお願いします。</p>
小林委員	<p>私は、西池小学校と江平小学校に行きました。約1時間ずつしか見ることができず、少々残念な思いもありました。上座の一番前のところに席をいただきましたが、私がいないうちは空席になってしまい、申し訳ない気持ちになりました。先程、重盛学校教育課長がお話しされたように、秋晴れで、非常に爽やかな天候の中での開催で、清々しい気持ちになりました。</p> <p>一方で、隣に座っている方と話をしている中で、半日開催ということに対しての思いが2つに分かれているということを感じました。半日でコンパクトに行くことにも意味を感じるが、一部寂しい思いをしている方もおり、様々なご意見があると感じました。「半日開催で物足りないところは何か。」と具体的に聞いたところ、「小さな子どもとのかけっこや地域の方と触れ合うようなイベントが省略され、コンパクトになっていることに寂しさを感じる。」とのお話でした。また、「お昼は一緒にお弁当食べたい。」という保護者も多数いるということで、その思いについてのお話も印象に残りました。</p>

	<p>一方で、私は、コミュニティ・スクールがすべての校区で展開されることに非常に関心があり、様々な質問をしました。コミュニティ・スクールが展開されていることで、学校が様々な面で地域に頼ってくれていることを聞きました。例えば、運動会に対しても、準備や片付けの段取りについて、地域の方々が非常に動いているというような話も聞きました。コミュニティ・スクールへの期待を聞いたことが非常に良かったです。</p> <p>気になったところを挙げるとするならば、スピーカーで音楽が流れた際に音がこもったり、割れたりしていたところです。先生方は、施設面で不満を感じているだろうと思いました。また、机の上がザラザラになるような砂ぼこりもありました。例えば、水を撒くような設備や砂ぼこり対応する設備が運動場にあると良いと思いました。</p>
松尾委員	<p>私は、宮崎港小学校と檣北小学校に訪問しました。どちらの学校も3つの団がありました。2つの学校の共通点としては、かけっこが苦手な子、得意な子を含めて、最後まで諦めないで走る姿が非常に印象的に残りました。加えて、団席には1年生から6年生までいますが、子ども達がよく面倒を見ていると感じました。非常に落ち着いて、団席に座りながら応援している光景を見ました。</p> <p>また、団長になる女子児童の数が増えてきた印象をもちました。私は、宮崎市男女共同参画社会づくり推進審議会委員として、第三次の計画に関わっていますが、学校教育で取り組む人権教育が、この男女共同参画社会づくりに大きく貢献していることを訴えてきています。自然な形で子ども達の中に入り込んでいることを感じる事ができました。</p>
西田教育長	<p>子ども達も一生懸命頑張っています。先程、小林委員の話に挙げた「運動会の半日開催」について、私も賛否両論、様々な意見を感じています。学校教育課長、いかがでしょうか。</p>
重盛学校教育課長	<p>そのような地域の声があることを承知しています。私が見た学校の運動会は、非常に工夫をしていました。多くを詰め込んだプログラムではなかったですが、中学校の部活動紹介まで組み込んでいました。工夫をすれば、非常に密度の濃いものができるのではないかと実感しました。</p> <p>学校教育課から、運動会を半日開催にするかどうか、指定をすることはできません。各学校ごとに、運動会の反省を必ず行うため、反省をもとにして適宜判断していくことになると思います。</p>
松尾委員	<p>この話題を校長に伺うと、「弁当を作る必要がないため、保護者は半日開催の要望が強い。」という話がありました。半日開催にするかどうかは、短絡的に考える問題ではないと思っています。様々な事情を含めて考えることが重要で、校長の考え方や周囲の意見を聴取しながら、考えていかなければならない問題だと感じます。</p>
西田教育長	<p>昨年、半日開催で運動会を行った際、終わった途端に団長が倒れて、病院に運ばれた話を聞きました。体力がこの3年間で非常に落ちていると感</p>

	<p>じています。そのような状況の中で、現在の段階では1日開催が難しいという話もでました。</p> <p>地域からは、「子どもの声を聞いたのか。」という話もありました。確かに運動会は、子ども達が行うため、子ども達の意見を聞き、議論をすることも判断材料の1つにしていかなければならないと思いました。</p> <p>他に、ご意見はありますか。</p>
小林委員	<p>誤解がないようにお伝えしたいですが、私自身は非常に濃密でコンパクトにまとめられている様子は、メリハリが良いと思いました。様々な声を大事にしながら、今後も議論することが必要であると感じました。</p>
西田教育長	<p>高峰委員、何かご意見はありますか。</p>
高峰委員	<p>半日開催だったということを知りました。</p>
西田教育長	<p>市内の小学校は、全て半日開催ですか。中学校も同様ですか。</p>
重盛学校教育課長	<p>中学校については、1校のみ1日で開催すると聞いてましたが、実際は半日開催にしたようです。12時過ぎまで競技、お弁当を食べた後に閉会式を行い、片付けをして帰宅するという学校もありました。学校ごとに、様々な工夫をしています。部活動紹介をした学校についても、午前中に運動会が終了し、お弁当を食べた後、片付けをする流れで開催しています。</p>
西田教育長	<p>各学校ごとに、様々な工夫をしています。</p> <p>その他、何かご意見等ありますか。</p>
委員	<p>なし。</p>
西田教育長	<p>それでは、他にないようでしたら、「4 議事」に入らせていただきます。資料の5ページをご覧ください。本日、議案が2件です。資料の6ページをご覧ください。まず、議案第42号「令和6年度宮崎市立ひなた中学校の入学式の期日について」、事務局から説明をお願いします。</p>
河野企画総務課長	<p>資料の6ページをご覧ください。宮崎市の小中学校の入学式の期日は、宮崎市立学校管理規則第14条第1項において「入学式は、4月12日までに挙げるものとし、期日は、教育委員会が定める。」となっています。7月の定例教育委員会では、「宮崎市立学校管理規則の一部を改正する規則」において、来年度から開校する宮崎市立ひなた中学校の入学式については、特例として、「ひなた中学校における令和6年度の入学式の期日については、この規則による改正後の宮崎市立学校管理規則第14条第1項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める。」ことについて、承認をいただきました。</p> <p>来年度の宮崎市立ひなた中学校の入学式の期日については、開校初年度であることに加え、年度当初には入学予定者への説明会や先生方の先進校視察、授業計画の立案等、一定の期間を確保する必要があることから、令和6年4月22日の月曜日に入学式を開催したいと考えています。</p>
西田教育長	<p>ただいま説明のありました、議案第42号について、質問はありません</p>

	か。
委員	なし。
西田教育長	他の中学校よりも少し入学式の期日を遅らせるということです。
松尾委員	入学式の開催場所は、宮崎市立ひなた中学校ですか。
河野企画総務課長	その通りです。教育情報研修センターの大研修室で行いたいと考えています。開校式と合わせて、入学式ができればよいと考えています。計画ができ次第、教育委員の皆様にもご案内します。
松尾委員	4月22日は月曜日です。土曜日、日曜日が間に入ると準備やその後の管理があると思います。教育情報研修センターであれば、問題ないと思います。
西田教育長	他に質問はありませんか。
委員	なし。
西田教育長	ないようでしたら議案第42号「令和6年度宮崎市立ひなた中学校の入学式の期日について」、ご承認いただけますか。
委員	異議なし。
西田教育長	ご承認ありがとうございます。 続いて、資料の7ページをご覧ください。議案第43号「宮崎市歴史資料館条例施行規則の一部改正について」、事務局から説明をお願いします。
町田文化財課長	まず、「改正の経緯」です。9月議会での公共施設使用料の統一的な見直しによる所管施設の関連条例の一部改正に伴い、安井息軒記念館の茶室「香梅庵」の「許可書」と「取りやめ届」の様式を改正するものです。 安井息軒記念館の茶室「香梅庵」の使用は、時間単位での貸し出しとなります。様式は、資料の9ページ、10ページにあります。この「新旧対照表」のとおり、時間区分の表示を削除し、時間のみの記載とします。 なお、改正規則の施行期日は、改正条例の施行期日と同じ令和6年4月1日です。
西田教育長	ただいま説明のありました、議案第43号について、ご質問はありませんか。
委員	なし。
西田教育長	ないようでしたら議案第43号「宮崎市歴史資料館条例施行規則の一部改正について」、ご承認いただけますか。
委員	異議なし。
西田教育長	ご承認ありがとうございます。以上で、議案は全て承認されました。 続いて、資料の11ページをご覧ください。本日は、報告が4件です。 資料の12ページをご覧ください。まず、報告第21号「令和5年第5回宮崎市議会臨時会（10月）の報告について」、事務局から説明をお願いします。
迫田教育局長	資料13ページ「令和5年第5回宮崎市議会臨時会（10月）の概要」

	<p>をご覧ください。</p> <p>まず、会期は、令和5年10月11日（水）の1日のみとなり、継続審査となっていた議案に対する議決が行われました。教育委員会関連の議案としては、議案第113号「令和4年度宮崎市一般会計歳入歳出決算の認定について」の1件で、賛成多数で決算認定されています。決算の認定にあたり、決算審査特別委員会委員長より、意見・要望がありましたので、教育委員会関連のみ抜粋して、説明します。</p> <p>まず『不登校児童生徒対策事業』について、「市内6か所の教育支援教室に在籍する11人のスクールアドバイザーが、学習指導や教育相談等を行う本事業について、当局が不登校の問題に真摯に取り組まれていることは評価するものです。今後も適正な予算を確保し、不登校児童生徒対策の充実に注力されたい。」という内容の意見・要望でした。</p> <p>次に、『小学校トイレ洋式化推進事業』及び『中学校トイレ洋式化推進事業』について、「当局において、小中学校トイレ改修事業も含めトイレの洋式化に、鋭意取り組まれていることは評価するとして上で、本市のトイレ洋式化率が全国平均及び宮崎県平均を下回っていることを踏まえ、最終的なトイレ洋式化率の目標設定について検討するとともに、トイレ洋式化率のさらなる向上に努められたい。」という内容の意見・要望でした。</p>
西田教育長	<p>ただいま説明のありました、報告第21号について、ご質問はありませんか。</p>
委員	<p>なし。</p>
西田教育長	<p>ないようでしたら、次に、報告第22号「令和5年度第2回宮崎市いじめ防止対策委員会の報告について」と、報告第23号「教職員の事案の報告について」ですが、こちらについては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
西田教育長	<p>それでは、これより非公開とします。</p>
西田教育長	<p>それでは、ここで非公開を解除します。</p>
西田教育長	<p>続いて、資料の16ページをご覧ください。報告第24号「臨時代理の報告について」、事務局から説明をお願いします。</p>
長田生涯学習課長	<p>資料の17ページをご覧ください。</p> <p>宮崎市青少年育成センター運営協議会は、青少年育成センターの運営に関し必要な事項を協議を行う機関です。14名の委員のうち、令和5年6月1日から委嘱していた委員1名が人事異動により交代となったことから、宮崎市青少年育成センター条例第5条及び宮崎市青少年育成センター条例施行規則第8条の規定により、後任の委員を委嘱したものです。</p>
西田教育長	<p>ただいま説明のありました、報告第24号について、ご質問はありませんか。</p>

委員	なし。
西田教育長	<p>ないようでしたら、会次第「5 その他」に移らせていただきます。</p> <p>資料の19ページをご覧ください。「(1) 文部科学大臣に対する会計検査院の結果報告について」、事務局から説明をお願いします。</p>
堀之内教育情報研修センター所長	<p>資料21ページをご覧ください。</p> <p>文部科学大臣に対する会計検査院の結果報告について、10月20日に報道に情報提供を行ったニュースリリースの記事を掲載しています。翌日の21日に宮崎日日新聞や読売新聞の記事になっていました。</p> <p>概要としては、本市が令和元年度3月補正予算で実施した「学校ICT環境整備促進事業」の一部費用に、文部科学省の「公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金」を活用したが、補助対象に該当しない費用を含んだことから、文部科学省に対して会計検査院より過大交付と指摘されたものです。</p> <p>指摘事項としては、補助対象に該当しない後年度の期間分、令和3年度以降の期間分のライセンス費用を補助対象経費に計上していたこととなります。今回10年間のライセンスを計上していました。令和2年度は4ヶ月分のみとなり、120ヶ月分の116ヶ月分が過大だということになりました。</p> <p>過大交付となった原因としては、補助対象経費の算定方法について、文部科学省が示した要綱等から校内LAN整備に係る初期費用を補助するものと認識し、機器やソフトウェアの調達設置等に加え、それに付随する複数年のライセンスについても補助対象であると捉えていたが、その解釈が誤っていたためです。</p> <p>会計検査院が指摘した過大交付額が、6,581万円です。今回いただいた補助金は、4億1,991万7千円です。そのうちの6,581万円が過大交付であると、指摘受けています。</p> <p>今後の対応については、過大に交付された補助金については、文部科学省の指示に従います。前年度も同じような指摘を受けている自治体があり、文部科学省に対して、補助金を返還していますので、本市も同様に返還の手続きをとることになります。</p>
西田教育長	ただいま説明に対し、ご質問はありませんか。
小林委員	<p>今回の報道を受け、文部科学省から申請した時点で、算出の仕方が誤っていることの指摘があると、未然に過大交付を防げるのではないかと感じました。支出をした後に、過大交付の指摘があるのは、厳しい対応だと認識したところでした。その点は、いかがでしたか。</p>
堀之内教育情報研修センター所長	<p>令和2年度3月に補助金に対する資料がありましたが、その中にはライセンスという言葉が出ていませんでした。令和2年3月に交付申請を行い、交付決定を受けましたが、5月に出てきたFAQには、ライセンスという言葉が出ていました。宮崎市としては、交付決定を受けていたため、その</p>

	後に出されたFAQを十分に確認していませんでした。全国の自治体も同様の理由で誤認したのではないかと思います。
小林委員	誤認するだろうという予測をもとに行われる文部科学省のチェックはなかったという認識でよろしいですか。
堀之内教育情報研修センター所長	市町村の分は、県で確認を行います。都道府県が出したものを国がもう一度確認します。
迫田教育局長	<p>私が正副議長説明と代表者会で説明をしました。</p> <p>当時の資料等を見た際に、3月時点で来た通知に初めて「今年度の支出について」という記載がありましたが、「単年度会計の原則上、複数年の有償保証サービス等、後年度負担を含むことはできない。」という書きぶりがありました。</p> <p>予算等を扱う事務職員にとっては、単年度会計の原則から外れる場合、「継続費」と「債務負担」と「繰越明許費」という認識になります。後年度の予算を含む場合は、「債務負担」もしくは「管理運営維持管理」が最初に念頭に浮かびます。推測ですが、このような書きぶりをしているところを踏まえると、この時点で文部科学省はライセンスの意識がなかったのではないかと思います。</p> <p>ライセンスは買い取りになるため、単年度で複数年買い取ったり、3年分のライセンスを買ったりということがあります。3月時点で、担当者がこの文言を読んで、ライセンスを頭に浮かべることは難しいのではないかと思います。</p> <p>5月になり、初めてライセンスという言葉が出てきました。FAQは、頻繁にある質問・回答であると考えており、3月から5月の通知が来るまでの間、問い合わせが多くあったのではないかと思います。</p> <p>しかし、当時はコロナ禍で、令和2年3月は、小中学校一斉臨時休校になった時期です。また、コロナ禍で、GIGAスクール構想を3年前倒しをしなければならない中、短い期間でWi-Fiの設備等も行うところでしたので、文部科学省にとっても非常に厳しい時期だったのではないかと思います。</p>
小林委員	GIGAスクールの準備は、短期間で行わなければならないところもあり、担当者も相当苦勞されたと思います。宮崎市ならではの教育展開ということで非常に思いをもって取り組まれていたのではないかと考えています。そのような意味で、非常に残念な気持ちと担当者の思いを考えると、様々考えることがありましたので、お聞きしました。ありがとうございました。
西田教育長	他に、何かご意見はありますか。
委員	なし。
西田教育長	ないようでしたら、次に「(2)「生目古墳群 de ピクニック」及び「第35回みやざき民俗芸能まつり」について」、事務局から説明をお願いします。

町田文化財課長	<p>配付されているチラシをご覧ください。</p> <p>1点目は、「生目古墳群 de ピクニック」についてです。11月18日に開催します。生目古墳群の認知度向上と、歴史学習の場以外にも利用することができることをPRするためのイベントです。家族層をターゲットにしています。今年で4回目、推定で500名以上が来場します。内容としては、発掘体験や歴史を学ぶシールラリー、触れ合い動物園を予定しています。また、キッチンカーもあります。午後から、テゲバジャーロ宮崎の選手も来て、サッカー体験や記念撮影等も行います。</p> <p>2点目は、「第35回みやざき民俗芸能まつり」についてです。11月25日に宮崎市民プラザのオルブライトホールで開催します。宮崎市民プラザでの開催は4年ぶりです。各地域で受け継がれている神楽や踊りを伝承している市内各地の6団体が出演をします。今回も小中学生の出演が多く、野島神楽は小学生、小松里神楽は中学生が舞をする予定です。江田神楽は中学生が太鼓を演奏して、青島臼鼓踊りは小学生と中学生が踊りを務めます。ぜひ、これらのイベントにお越しください。</p>
西田教育長	ただいま説明に対し、ご質問はありませんか。
委員	なし。
西田教育長	その他、委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いします。
小林委員	<p>10月20日に学生10名の引率をして、青島小学校で自由進度学習の参観をしました。自由進度学習について、非常に関心があり、青島小学校の校長と何度かやりとりをしていたところ、「20日に様々な地域から視察があるので、よろしければ、その日にお越しください。」とご連絡をいただきました。8月21日に行われた「未来の教室」教育フォーラムで登壇された種子田先生の授業を見ました。本当に1人1第端末を有効に活用されていました。自由進度学習を成立させるのは、なかなか難しい取組ということで、各地の関心も高かったです。教育長の報告いただいた九州都市教育長協議会のお話でもありましたが、一斉指導の見直し、子ども達の主体的な学びや協働的な学びをどのように展開していくかという点について、ICTを非常に有効活用し、授業展開をしている姿がありました。そのような点で、本市が取り組んでいる「未来の教室」への取組は、これから先も、令和の日本型学校教育への展開に向けて、様々な提案ができる、先端的な取組みなのではないかということとを学生と一緒に議論しながら、訪問しました。</p>
西田教育長	<p>自由進度学習は、新たな令和時代の学びとして、全国的な話題となっています。全国的にも代表的な学校がありますが、宮崎市では、青島小学校や宮崎小学校を中心に広がりつつある状況です。</p> <p>また、10月16日の日本教育新聞で大宮中学校の取組が報道されました。他の学校もより良い方向に向かっていくと良いと思います。</p>
西田教育長	他に、何かご意見はありますか。

委員	なし。
西田教育長	ないようでしたら、次に、会次第「6 次回教育委員会について」、事務局から説明をお願いします。
河野企画総務課長	資料の19ページをお願いします。次回定例会は、令和5年11月15日(水)、13時40分から、教育委員会室において、お願いしたいと考えています。
西田教育長	ただいま説明のありました日時で、委員会を開催しますので、よろしくお願い致します。
委員	異議なし。
西田教育長	続いて、会次第「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。
河野企画総務課長	<p>明日から年内の予定を掲載しています。</p> <p>まず、明日10時30分から、「令和6年度の教育施策に対する要望」に関する宮崎県教育委員会と宮崎市町村教育委員会連合会との意見交換があります。松尾代表教育委員が出席予定です。</p> <p>11月1日から2日にかけて、「第2回宮崎県都市教育長協議会」が西都市で行われます。教育長の出席予定です。</p> <p>11月8日は「B&amp;G全国教育長会議」、9日は「全国都市教育長協議会」です。教育長の出席予定です。</p> <p>11月10日は、予定がいくつか重なっています。そのうち「令和5年度市町村教育委員会研究協議会」が広島県で開催されます。教育委員の皆様が出席予定です。よろしくお願い致します。</p> <p>11月11日は、「合同穆園学習会」が高岡中学校で開催されます。教育長と松尾代表教育委員が出席予定です。</p> <p>11月13日は、「宮崎市中学校音楽大会」が開催予定です。松尾代表教育委員が出席予定です。</p> <p>11月15日は、次回の定例教育委員会の予定です。</p> <p>11月25日は、先ほど案内がありましたが、「第35回みやざき民俗芸能まつり」が開催予定です。</p> <p>11月27日から12月13日にかけて、「12月の宮崎市議会定例会」の予定です。</p> <p>12月12日は、「市町村教育委員と県教育委員との意見交換」が開催予定です。</p> <p>12月15日は、「地域・家庭・学校と教育委員会との意見交換会」が開催予定です。教育委員の皆様が出席予定です。よろしくお願い致します。</p> <p>12月20日は、次回の定例教育委員会の予定です。年内最後の定例教育委員会になります。</p> <p>12月22日は、「宮崎市総合教育会議」が開催予定です。市長と教育委員の皆様との意見交換をお願いしたいと考えています。よろしくお願いしま</p>

	す。
西田教育長	ただいま説明に対し、質問はありませんか。
委員	なし。
西田教育長	以上をもちまして、第10回定例会を終了します。